



■烏山東風の会会報誌 100号に寄せて■

昭和大学発達障害医療研究所所長 加藤進昌

東風の会会報誌 100号達成おめでとうございます。50号が2017年11月ですから、4年余りですね。この間に、当事者の方たちを対象にしたショートケアプログラムは診療報酬加算の対象になりました。プログラムの質を担保するために成人発達障害支援研究会は学会化して、2021年11月には滋賀県大津市で第8回を開催しました。コロナ禍ではありましたが、リアルとオンラインを合わせ300名以上が参加していただきました。プログラムは確実に全国化に向かっているといえそうです。国の研究費でプログラム内容の向上にも取り組んでおり、当事者同志の交流（ピアサポート）が重要であるというエビデンスも蓄積されつつあるように思います。



東風の会の皆さんの関心事としては、当事者であるご家族が今後自立していくための仕組みを確立することが一番ではないでしょうか。私たちもそのためには何が必要か、社会に何を訴えていくべきかを模索しています。障害者差別解消法も成立し、大学などでは合理的配慮も義務化されました。障害者就労の仕組みも整備されつつありますが、具体的な運用の実態は満足できるものとは言えないように思います。

発達障害は生来性のもので、発達凸凹などと言われるように、その能力には相当の落差があります。記憶力が抜群である、音楽や美術の才能が並外れている、発想が独特であるという例は決して稀ではありません。得意な能力を伸ばし、不得意な分野については上手に回避して、それぞれの能力を存分に発揮して社会に貢献してもらうことが求められていると思います。

発達障害はいくつかに分けられていますが、それらは互いに絡み合っているように思います。特性はさまざまに濃淡ができて、全体として凸凹ができていくように思われます。特性を作るのは脳であることは間違いのないはずですから、これは脳の多様性を示しているのではないのでしょうか。そういう多様性を保証する仕組みを社会が持つこと、それによって社会が進歩するのではないかと思います。発達障害を入り口にそういったことを私たちが広く社会に訴えて行きたいと思います。



■令和4年（2022年）の新年ご挨拶■

烏山東風の会会長 下斗米 敬

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

東風の会会報も平成25年10月に第1号を発行後このコロナ禍でも中断なく、本号でもって第100号を発行するまでになりました。ここに至るまでの皆様のご支援に厚く感謝します。

さて、一昨年(2021年)の2月以降コロナ感染予防のため、当会も大幅に活動を制限せざるを得ない状況が続いています。その後ワクチン接種とマスク/換気/アルコール手洗いという手段が効を奏したのか、昨年末から感染数が大幅に減少してきましたが、新たな変異コロナウイルスの発生とまだまだ安心できる状況にありません。

このような状況ですが、2月には、久しぶりに「家族のつどい」を再開する方向が決まりました。患者の家族の方々にとって、同じ悩みをもつ家族との交流の大切さは多くの識者から指摘されています。東風の会でも2月相談会/4月講演会を再開し5月には女子会も計画しています。会報/ホームページに日程等掲載しますので楽しみにしてください。

ところで、会員の皆様、世話人会を覗きに来られませんか。昨年も多くの方が、世話人会を覗きに来られました。現在、世話人会は月一回開催しております。世話人会では、会の運営の話以外に発達障害に関する講演会情報や障害者支援制度の勉強会/世話人のしゃべり場を行っています。その中で家庭の中で子供と向き合う際に気を付けること、よりいい方向に向かうヒントでも掴んでいただけたらと思う次第です。開催日はホームページに記載しています。事前にお問い合わせコーナーで連絡いただけると幸いです。

本年もコロナ感染について安易な予想はできませんが、会としても可能な限り活動は継続してゆきたいと考えています。皆様のご理解とご協力を切に望む次第です。

■ 会報 51号から 99号の主な内容 ■



2017年

No.51 (12月)「成人発達障害支援研究会及び国際自閉症カンファレンス参加報告」「ミケのつぶやき 28」



2018年

No.52 (1月)「2018 ご挨拶 (五十嵐先生)」「親同士の支え合いこそ活動の柱」「世話人の募集 世話人会をのぞいてみませんか」「世話人会 Q&A コーナー」**No.53 (2月)**「ペアレントメンター活動を円滑に進めていくために」「ミケのつぶやき 29」「第6回講演会開催のお知らせ『共に元気になるために』」「世話人会 Q&A コーナー」**No.54 (3月)**「第23回家族のつどい」「発達障害の生活のしづらさ～感覚の視点から考える～(水野先生)」「世話人会 Q&A コーナー」**No.55 (4月)**「新年度のご挨拶と ASD グループの診療報酬化について(五十嵐先生)」「東京都のペアレントメンター養成・派遣事業について」「世話人会 Q&A コーナー」**No.56 (5月)**「烏山東風の会 第6回講演会『共に元気になるために』」**No.57 (6月)**「烏山東風の会 第6回講演会のアンケート報告」「ある親の体験」**No.58 (7月)**「第6回烏山東風の会 総会報告」「世話人会に参加して」**No.59 (8月)**「第24回家族のつどい全体会(当事者の思い)の概要」「ミケのつぶやき 30」**No.60 (9月)**「医師が家族に望むこと(太田先生)」「東京都発達障害関連団体交流会に参加して」「世話人会 Q&A コーナー」**No.61 (10月)**「烏山東風の会第7回講演会『発達障害のある人とその家族のための制度入門』」**No.62 (11月)**「手記～少しずつ、少しずつ～」**No.63 (12月)**「必要とされる研究所であり続けるために(中村元昭先生)」「講演会の報告～大人になった ASD の人がハッピーに暮らすためのヒント～」



2019年

No.64 (1月)「2019年 新年ご挨拶」「知っておきたい成年後見制度～障害のある人の『親なきあと』～」**No.65 (2月)**「働き続けることの難しさ」「烏山東風の会 第8回講演会開催のお知らせ『はたらく私』を目指して」**No.66 (3月)**「第25回家族のつどい『認知のクセを知ろう』講演内容(小峰先生)」「退職のごあいさつ(小峰先生)」「ある日の世話人



会から」**No.67 (4月)**「六度目の春を迎える、烏山東風の会です」「『烏山東風の会』の活動内容」「ネット・ゲーム依存とひきこもり」**No.68 (5月)**「新任のご紹介(今井先生 看護師長岡さん)」「第8回講演会アンケートから」**No.69 (6月)**「烏山東風の会第8回講演会『はたらく私を目指して』社会の中へ自立の一步を踏み出すために」**No.70 (7月)**「第7回烏山東風の会 総会報告」「新会長あいさつ」**No.71 (8月)**「第26回家族のつどい『お互いを大切にするコミュニケーション～アサーションを学ぶ～』(水野先生 川畑先生)」**No.72 (9月)**「第2回 研究成果報告会(太田先生)」「研究成果報告会に参加して」「『東京障害者職業能力開発校』施設見学」**No.73 (10月)**「烏山東風の会第9回講演会 障害ある子の『親なきあと』」**No.74 (11月)**「烏山東風の会第9回講演会アンケート報告」「社会福祉法人にじの会～ワークショップハーモニー見学～」**No.75 (12月)**「デイケアにおける支援:就労支援の先は?(横井先生)」「成人発達障害支援学会参加報告」「『外部の講演会情報』掲載のお知らせ」

2020年



No.76 (1月)「新年の会長ご挨拶」「『外部の講演会情報』掲載のお知らせ」「会報作業担当のデイケアを見学しました」**No.77 (2月)**「『職場の発達障害 自閉スペクトラム症編』を読んで」「講演会開催のお知らせ『親あるうちに聞いておきたいこと』」**No.78 (3月)**「オランダの精神医療の実践～ケン・タナカ医師の講演から～」「デイケア発 当事者語り」**No.79 (4月)**「新任のご紹介(看護師嶋邨さん 佐藤さん)」「世話人親子のやさしい時間」**No.80 (5月)**「デイケアスタッフ 産休のご挨拶(看護師大岡さん)」「千歳烏山 寺町散歩」**No.81 (6月)**「しなやかに揺れるヒント～WRAPとコロナ対策しながらつかえる元気に役立つ道具～(看護師福島さん)」「『事例で学ぶ発達障害の法律トラブル Q&A』を読んで」**No.82 (7月)**「第8回烏山東風の会総会について」**No.83 (8月)**「新型コロナウイルス感染症、そして不安を乗り越えること(佐賀先生)」「世話人の不安解消法アレコレ」**No.84 (9月)**「発達障害を持つ大学生プログラムの取り組み(五十嵐先生 今井先生)」「私の心配事」**No.85 (10月)**「成人発達障害支援学会 Newsletterの概要紹介」「通り来た道」**No.86 (11月)**「コロナ禍におけるインターネットやゲームの依存について考える(中村暖先生)」「成人発達障害支援学会 Newsletterの概要紹介(続き)」**No.87 (12月)**「昭和大学附属烏山病院公開講座を聴講して」



2021年

No.88 (1月)「令和3年の年頭ご挨拶」「息子の『今あるありのままを見る』」「八人の花いちもんめ われ一人『この子がほしい』の反対を聴く」**No.89 (2月)**「発達障害をもつ大学生家族を対象にしたプログラムの取り組み(今井先生)」「家は『シェルター』私の心掛け」**No.90 (3月)**「年度末のご挨拶(五十嵐先生)」「産休のご挨拶(作業療法士花田さん)」「ネガティブ・ケイパビリティ」**No.91 (4月)**「私のコロナ感染記」「【障害のある子の『親なきあと』』を読んで」**No.92 (5月)**「異動のご挨拶(看護師福島さん)」「新任のご紹介(看護師横山さん)」「娘のこと」**No.93 (6月)**「発達障害を持つ大学生支援 研究修了のご報告(太田先生 五十嵐先生)」「小さな市民緑地」**No.94 (7月)**「コロナ禍の大学生活と大学からの支援」「発達障害当事者の映画『僕が跳びはねる理由』」**No.95 (8月)**「デイケアメンバーとの交流会」「出会い、つながり、支えられ、支える」「父親失格からのスタート」**No.96 (9月)**「烏山東風の会総会議案書への集計結果」「烏山東風の会新会長挨拶」「発達障害の最新知見(MRI 画像研究の現状)(太田先生)」**No.97 (10月)**「烏山東風の会書面総会でのコメントを紹介します」「ASDとダウン症、映画『旅立つ息子へ』『わたしはダフネ』」**No.98 (11月)**「烏山病院公開講座『発達障害の診断と治療』」「みんなねっと全国大会に参加して」**No.99 (12月)**「第8回成人発達障害支援学会の報告」「『発達障害の患者学』を読んで」



■ 「烏山東風の会」今後のスケジュール ■

「烏山東風の会」では、感染状況を見つつ、十分な感染対策をしたうえで一部の活動を再開することにしました。当面、家族相談会を原則事前申し込み制(やむを得ない場合当日も受け付けます)で2月から再開します。受付時のお名前とご連絡先のご記入、検温、手指消毒、マスク常時着用などご協力をお願いします。家族相談会は3月以降も第3水曜に開催します。

4月には講演会を企画しておりますが、感染拡大状況により開催を再検討する場合があります、随時HPと会報でお知らせします。

■家族相談会 2月16日(水)3月16日(水)午後1時30分～午後4時

烏山病院 発達障害医療研究所デイルーム

申し込み・お問合せ:烏山東風の会携帯 080-3009-1200 kochinokai@au.com

専門家ではありませんが、同じ親の立場として家族会世話人がお話をうかがいます。

■世話人会 1月22日(土)2月26日(土)

会員の方の見学、ご参加をお待ちしています。世話人会の見学・参加、ご意見等は下記にご連絡ください ●080-3009-1200 kochinokai@au.com

各種、お問い合わせ、ご相談もお受けしております。

■「烏山東風の会」ホームページでも、情報を発信しています。

●「烏山東風の会」ホームページアドレス <https://www.kochinokai.com/>



ダイケア写真館

コミュニケーションズプログラム

私は金曜日の午後、コミュニケーションズというプログラムに参加しています。

コミュニケーションズは、金曜日の午後に行われているプログラムで、ダーツやバドミントン、音楽鑑賞などを、月初めにメンバー皆さんの意見で種目を決めています。

以前までは奉仕活動に参加していましたが、知り合いの勧めでコミュニケーションズのダーツに参加するようになりました。私はダーツに1回だけ参加するつもりでしたが、参加しているメンバー皆さんと和気藹々できることがとても楽しくて、それからずっと続けています。

初めて話すメンバーがいると少し緊張しますが、自ら率先して話すように心がけています。そうやって話していくうちに打ち解けることができました。

またこのプログラムに参加して、みんなで楽しむためには、準備や記録などの役割分担が必要だと学ぶことができました。

矢を投げることでストレス発散ができ、高得点が取れた時に爽快感が得られるので、もっと多くのメンバーにコミュニケーションズへ参加してもらいたいと思っています。(K.T)

